



病院のホームページもご覧ください。

今回は、「がん相談支援センター」・「肝疾患相談センター」・「患者さんのためのサロン」についてご紹介いたします。

がん相談支援センター

国民の2人に1人は「がん」にかかり、3人に1人は死に至るといいう時代です。もし、あなたやあなたの家族が「がん」になったら、どう向き合えばよいでしょうか。

がんと告知された瞬間から、がん患者さんとそのご家族は例えようのない孤独感や不安に襲われることがあります。そのようなときは、当院の「がん相談支援センター」をご利用ください。専任の看護師、ソーシャルワーカーが、がんに関するさまざまな相談に応じます。

がんと診断されたとき、多くの人が

が「どうして私か?」とやりきれない気持ちになります。診断や治療の判断をすることはできませんが、お気持ちを聞きながら、悩み・疑問を一緒に一つ一つ整理し、心が穏やかになるようにお手伝いします。

ここで、相談の具体例を次に挙げます。がんに関するどんな悩みでも遠慮なくご相談ください。

相談例 診断・治療・療養・医療費・入院退院・告知・セカンドオピニオン(治療に関して他の病院等のお医者さんの意見を聞くこと)・不安・生きがい・就労・経済的負担・人間関係など、匿名のままでの相談にも応じており、その他ご家族の方などのご相談にも応じています。また、他の医療機関とも連携し、対応しています。

肝疾患相談センター

がんだけではなく、肝臓病に関するご相談を受けするため、肝疾患相談センターを設置しております。定期的※に肝臓病教室も開催しています。こちらの方も、どうぞご利用ください。

※偶数月の第3木曜を予定しています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

患者さんのためのサロン

当院では、がんとうき合つ患者や

ん同士が、心の悩みや体験を語り合う「患者さんのためのサロン」を設置しています。このサロンをご利用いただいているグループとして、乳がん患者さんの集まり(毎月第2・4水曜日の午後)があります。他の患者さんの話を聴くことによって、「悩んでいるのは自分ひとりではない」と感じられたり「同じような問題を抱えている人がほかにいる」とい



サロン内



うことがわかったりするだけでも、気持ちがいぶん楽になるものです。また、サロンには、乳がん術後の下着の見本や手作りのパット、抗がん剤で髪の毛が抜けてしまった方用にボランティアさんに作っていただいたタオル帽子があり、それを無料でお渡ししています。第2・4水曜日以外でも気軽に立ち寄りください。

場所

がん相談支援センター、肝疾患相談センター、患者さんのためのサロン(いずれも砺波総合病院南棟2階全売店の上) 利用時間

「患者さんのためのサロン」は午前10時から午後4時(土・日・祝日除く) 問合せ

がん相談支援センター、肝疾患相談センター ☎32-3320



病院敷地内禁煙をお願いします

病院には気管支ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、妊婦、赤ちゃんを抱いたお母さんも通っています。

～あなたならきっとできる～

★禁煙開始方法
思い立ったら吉日、いまから禁煙!

禁煙対策委員会